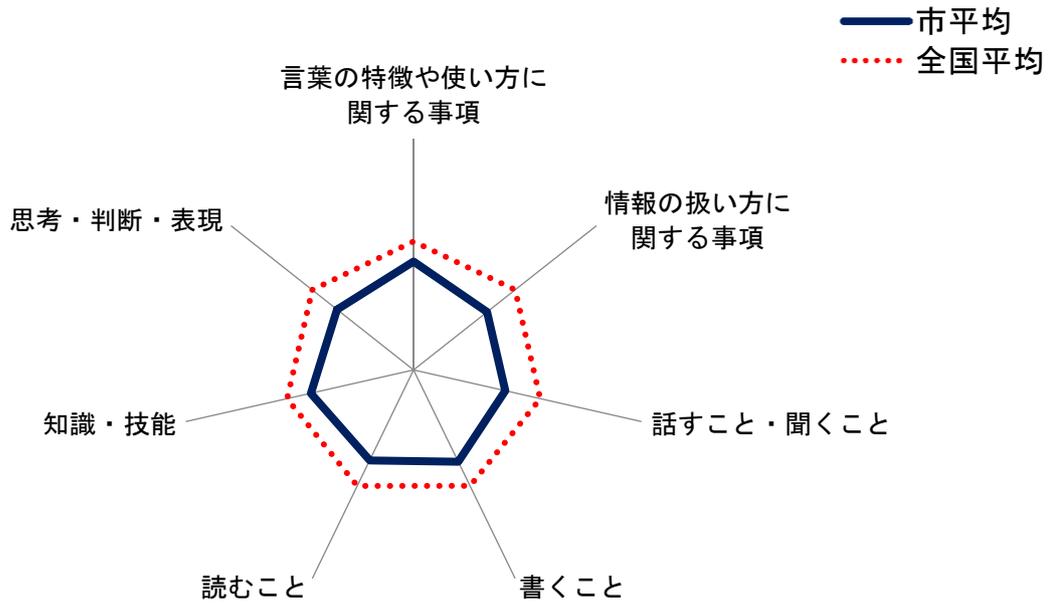
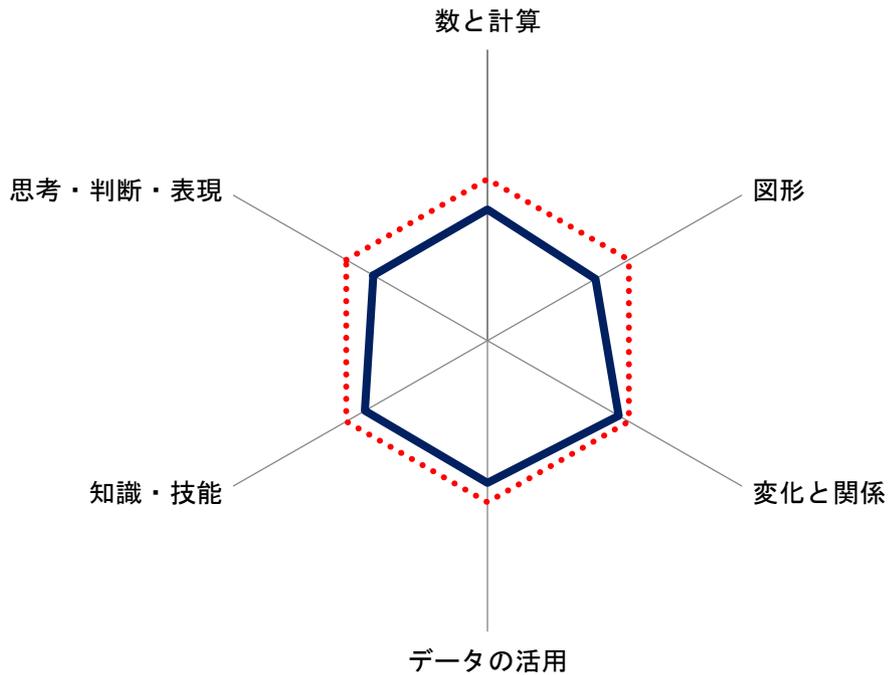


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

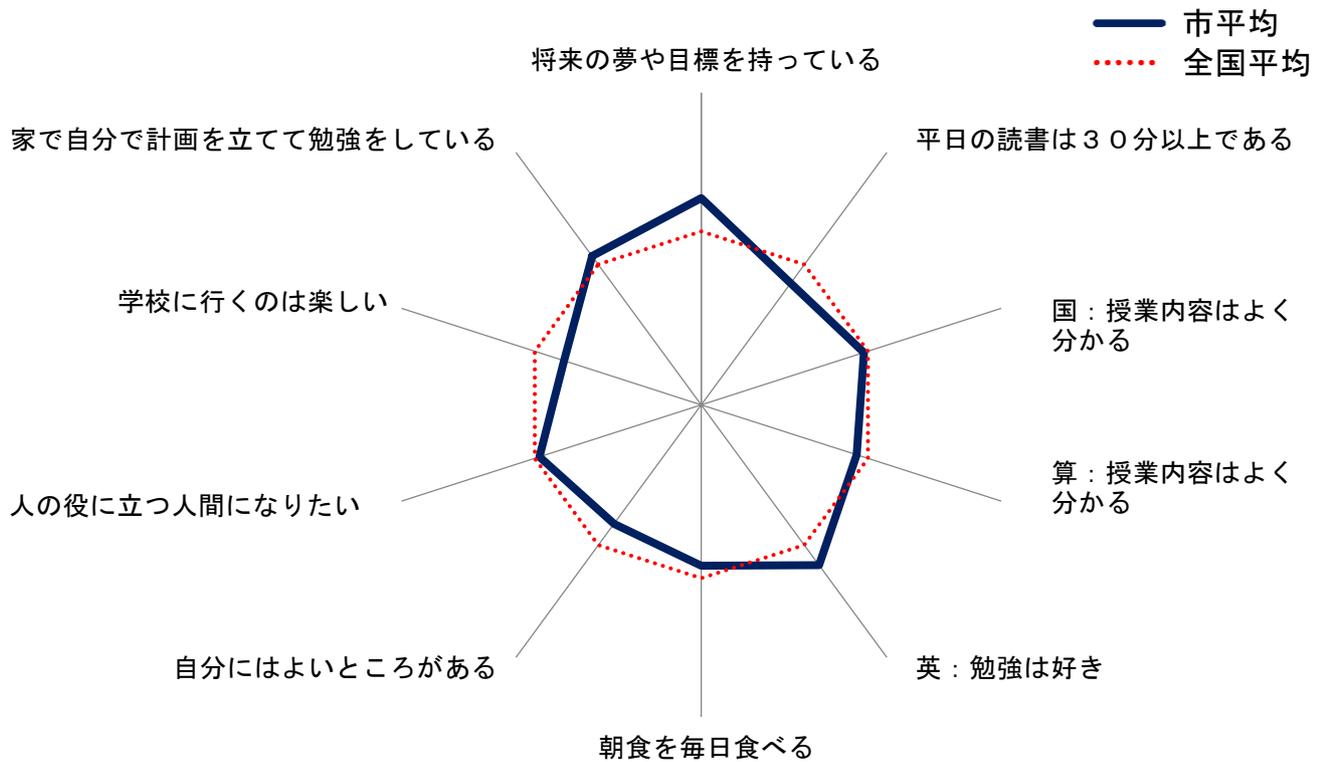
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、全ての項目が全国平均を下回っている。特に、国語の「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」、算数の「図形」の項目は、全国平均との差が他の項目に比べて大きく、基礎的な知識及び技能の定着と読解力に課題が見られる。今後は、設問ごとに詳細な分析を行うことで成果と課題を明確にするとともに、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かし、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成や読解力の向上が望まれる。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「英語の勉強は好き」の項目が全国平均を上回っており、キャリア教育の充実と「英語授業力ブラッシュアップ研究協議会」での各地域の取組の成果がうかがえる。一方、「学校に行くのは楽しい」「自分にはよいところがある」「平日の読書は30分以上である」の項目が全国平均を下回っている。今後は、各学校の実態に即した魅力ある学校づくりや自己肯定感を育む教育活動をより一層推進するとともに、読書習慣の確立に引き続き取り組んでいくことが望まれる。